



【理念】 「人と自然の健康と調和を大切にする医療を実践します」

■発行所 / 独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター
■発行責任者 / 事務部長 小野寺 正逸

札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1-1 電話 .(011)611-8111 / FAX.(011)611-5820
ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc/>

平成25年7月1日付けで副院長を拝命いたしました。北海道医療センターの前身である国立西札幌病院には平成7年に赴任しました。現在に至るまで、平成11年外科医長、平成17年統括診療部長、平成24年特命副院長、そして今回副院長と、身に余る大役を次々と受け賜っており、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。当院は開院前から、救命救急センター立ち上げを始め、27診療科の開設に向けて多くの難問を抱えておりましたが、何とか平成22年3月にスタートすることが出来ました。今後は診療内容のレベルアップ、診療体制のさらなる充実が大きな課題となっております。問題は山積しておりますが、一つずつ解決していきたいと思っております。

昨年国立病院機構本部よりリスタートプラン対象病院に指定され、経営改善を強く要望されました。病院は元来診療が重視され、さらに医療安全、感染対策などが優先されます。しかし患者に良質な医療を提供するためには健全な経営運営が必要となります。病院にとって診療と経営とは車の両輪のようなもので、どちらかに不具合があれば決して前には進みません。診療と共に経営にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。そうは言っても当院は決して利益を追求する病院ではありません。経営が順調になれば、資金は患者サービス、医療機器、IT整備、人材確保、教育・研修などに充てることが出来るようになります。

一方病院が大きくなれば現場の問題点をなかなか拾えなくなります。以前恩師か

ら「声なき声に耳を傾げるように」との教えを頂きました。今後は連携、コミュニケーションを良くして、何事に対しても問題が大きくならないうちに解決していこうと思っています。病院は患者を中心として診療部、臨床研究部、看護部、コメディカル部、事務部など全てのスタッフが固く結ばれております。北海道医療センターは今までも、そしてこれからも、病院のスタッフにより進化し、発展していきます。病院はヒトが造り上げるものという信念にはいささかも変わりありません。微力ながらも全力を尽くす所存ですので、今後とも変わらぬ御指導・御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

Greeting-01

副院長
伊藤 美夫

就任の挨拶





就任の挨拶

Greeting-02

統括診療部長
長尾 雅悦

札幌の夏の名物となった PMF (Pacific Music Festival) の 2013 シーズンが芸術の森で始まりました。今年はプロ野球のオールスターゲームが札幌ドームで開催されます。大通りのピアガーデン、花火大会など屋外での楽しみが目白押しの季節となり、皆様それぞれに夏の過ごし方を考えていらっしゃることでしょう。このような北国に生活する幸せを最も享受できる時期に統括診療部長を拝命し感慨深いものがありますが、院内外の付随する役職も多く気を引き締めて一つ一つ問題解決する姿勢で参ります。

簡単に自己紹介させていただきます。私は昭和34年(1959年)室蘭市の生まれ、室蘭栄高校の出身です。昭和58年(1983年)に札幌医大を卒業し小児科に入局しました。先天代謝異常症をライフワークにしようと考え、大学院で徳島大学酵素研へ1年間勉強に行かせてもらい、平成2年(1990年)からは米国のイェール大学に2年間留学しておりました。当時は初期臨床研修制度などなくストレート研修で自由な裁量で診療させてもらい、同時に基礎医学的なトレーニングも受けることができました。帰国後(1992年)は医局人事に従い、国立療養所小樽病院に赴任したのをきっかけに西札幌病院そして北海道医療センターと20年以上に渡り国立関連施設に勤務させていただいております。

西札幌病院の頃より小児科診療だけでなく地域医療連携室の仕事を通じて、患者家族の皆様や地域医療機関の方々とおつき合いさせていただいております。特に宇根前院長の時代から始めた院内コンサートでは、札幌のトランペット奏者の佐藤誠先生にご指導いただき、音楽を通じ患者家族の皆様と職員が一体となり感動を得る瞬間を数々経験できました。今後も健康教室、症例報告会、院内コンサート、病院祭りなどの企画を行い、より一層親しみ易い病院となるよう努力して参ります。当院は西区唯一の公的病院であり、地域の診療所・病院からご紹介いただいた際には『来て良かった』、『紹介して良かった』と直感できる環境作りが急務です。医師会員の先生には開放ベッドや医療機器の共同利用を通して、当院の職員と一緒に診療を進める体制ができています。どうぞ皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



糖尿病脂質代謝内科

糖尿病脂質代謝内科医長

加藤 雅彦



Workspace introduction-1

糖尿病脂質代謝内科は糖尿病、脂質異常症（高コレステロール血症、高中性脂肪血症など）、肥満症、メタボリックシンドロームなどのいわゆる生活習慣病の方々を対象に診療をしています。

現在、常勤医師は2名（加藤雅彦、中垣彩）と外来診療担当の非常勤医師2名（北大第二内科より派遣）で診療をおこなっています。

当科の特徴は、医師・栄養士・看護師・理学療法士・検査技師・薬剤師からなる糖尿病診療チームを作って診療していることです。糖尿病療養指導士（CDE-J）の資格をもつスタッフが中心になり指導しています。さらに、進行した糖尿病網膜症や足壊疽の患者さんには眼科、皮膚科の医師とも連携をしながら治療をおこなっています。

糖尿病は生活習慣病の代表的な疾患で、患者さんの数がとても多い病気です。

その中で当科での役割は次のようなことを考えています。

- ① 糖尿病という病気の理解のための教育
 - A) 外来糖尿病教室
 - B) 入院糖尿病教室
- ② 血糖コントロールが困難な患者さんの外来および入院治療
- ③ 糖尿病性合併症の悪化を防ぐ診療
 - A) 糖尿病末梢神経障害による足の感覚障害のある患者さんの足壊疽を予防するための「フットケア外来」
 - B) 糖尿病腎症のある患者さんが血液透析になるのを予防するための「透析予防外来」

上記のような糖尿病の専門診療は当科でおこない、血糖コントロールの良好な患者さんは近くの先生に診ていただく、このような循環ができればよいと願っています。今後ともよろしくお願ひします。

診療科の紹介

泌尿器科は昨年度まで常勤医2名体制でしたが、都合により今年度は常勤医が1名となりました。外来診療は第2・第4月曜日の午前と、毎週火・木・金曜日の午前が常勤医、毎週水曜日の午前が札幌医大出張医によって行われています。検査は毎週火・水・木曜日の午後ですので、下記のような気になる症状がありましたら外来を受診してご相談ください。

(気になる症状)

- 健康な人でも尿検査で分かる血尿は軽度であれば出現することがありますが、その量が多い場合や、目で見て分かる血尿が出る場合。
- 背部・下腹部、会陰部・陰囊の違和感や痛み、排尿時の痛みがある場合。
- 背部・腹部・陰囊内・陰茎にしこりが触れる場合。
- 朝起きてから夜就寝までに8回以上の排尿や、夜就寝してから1回以上排尿のために起きたり、何の前触れもなく急に尿意を催したり、我慢できずに尿が漏れたり、咳・くしゃみなど下腹部に力が加わったときに尿が漏れるなどで、日常生活に支障がある場合。
- 尿の出方が悪い・時間がかかる、排尿後もすっきりしない場合。
- 前立腺癌を発見するための血液マーカー PSA が高いと言われた場合。

泌尿器科では患者さまの病気・病状に応じて最善の治療法を検討し、同意のもとに治療を行っています。現在行っている主な治療は下記の通りです。

(当科で行う主な治療)

- 尿路結石
経尿道的碎石術（f-TUL）
- 前立腺肥大症
経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）
- 腎癌
開腹腎摘除術、腹腔鏡下腎摘除術、腎部分切除術、免疫治療、分子標的治療
- 膀胱癌
経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT、HoLRBT）、根治的膀胱全摘除術+尿路変向術、BCG/抗癌剤膀胱内注入療法、全身化学療法
- 前立腺癌
根治的前立腺摘除術、放射線外照射 / 内照射治療（放射線治療は他病院へ紹介）、内分泌療法、全身化学療法

泌尿器科



泌尿器科医長

笹村 啓人

Workspace introduction-2

「暴風雪による 大規模停電時の 対応について」



平成25年度医療安全特別講演会

Report-01

医療安全管理係長

久保 まゆみ



市立室蘭病院総合病院院長東海林哲郎先生を講師にお招きし、平成25年6月20日医療安全特別講演会「暴風雪による大規模停電時の対応について」を開催しました。

私たちの記憶にも新しいところですが今年は寒さ、降雪など大変厳しい冬でした。11月27日室蘭市周辺を襲った暴風雪。市立室蘭総合病院は2009年から毎年、数百人規模の災害訓練をテーマを設け実施されているそうです。自家発電、諸検査、透析、手術、救急対応、また患者さんだけではなく職員の

食事、院内連絡（PHS・携帯電話は充電できない）、そして通電後の再停電時の外来対応など。時にユーモアをまじえながら防災訓練が役立ったこと、今回の体験で明らかになった防災訓練では見えなかったことなどを具体的に話していただきました。参加された皆様も大変熱心に聴講され、当院の今後の災害対応について大きなご教示を頂いた講演でした。

北海道医療センター災害対策マニュアルのポイント及び災害訓練実施報告を第66回国立病院総合医学学会にて発表させていただきました。





去る5月18日(土)北海道医療センターでは看護週間最後のイベントである健康相談会を行いました。地域住民の皆様との交流を目的に毎年この時期に血圧など各種測定や健康相談会を行ってきましたが、今年は親しみやすいだけでなく地域の頼れる病院であることを広く住民の皆様にアピールするため様々な工夫を凝らしました。看護師だけでなくレントゲン技師や調理師に至るまでこの日に向かって協力し、一つとなって作り上げた「私たちの看護の日イベント」をご紹介します。

当日は天候にも恵まれ、多くの近隣住民の皆様がお越し下さいました。各種測定では今年から始めた骨密度測定や血管年齢測定に人気がありました。健康相談へは測定結果を持って行かれる方や、日頃から気になっている症状や治療のこと、外来受診時に確認できなかった疑問などを相談にいらっしゃいました。放射線室のツアーでは年配の方からお子さんまで参加され、難しいところもあったようですが楽しかったと喜んでいただけました。小学生以下の白衣の試着では喜ぶお子さんがいた一方で私たちの着ている白衣を怖がるお子さんもいて、来年度の課題とし

て残りました。病院食体験のコーナーではエビピラフと調理師さんによる温かいスープが振る舞われ、「美味しかったです」とコーナーまで言いに来て下さる方もいらっしゃいました。BLS体験は参加する方は少なかったのですが、「初めて体験出来て良かった」「やってみて勉強になった」という感想をいただきました。

最後のフラダンスショーは当院の看護師が参加しているフラダンスサークルの協力のもと実現しました。入院患者さまも見学に来られ完成度の高いショーは好評でした。もちろん、当院の看護師もショーに参加しました。

初めての試みが多く、反省点もあるのですが各部署の職員が協力してこのイベントを成功させたことは、大きくなった病院内での結束を深める事になりました。



好評だったフラダンスショー

「看護の日イベント」を開催して

Report-02

3-2 病棟 副看護師長
菅原 明栄



各種測定の様子



放射線科ツアーの様子



附属札幌看護学校 「体育大会」を 開催しました!!

Event-1

教育主事
森 康子

看護師募集中



あなたのキャリアアップを
全力で支援します!!

連絡先

TEL:011-611-8111
(内線 6150)



平成 25 年 6 月 14 日 (金) に、体育大会を開催しました。当院附属札幌看護学校の全学生 240 名が「スポーツを通して健康増進を図り、さらにクラスの団結を強める」ことを目的に学校行事として毎年開催しています。学生が主体的に体育大会の内容を企画、運営しています。今年も、山の手養護学校に協力していただき、山の手養護学校の体育館と当校の体育館の 2 カ所で、バスケットボール、バレーボール、ドッジボール、玉入れ、綱引きが、クラス対抗で実施されました。開会式は若崎学校事務長さんの挨拶で始まりました。日頃の講義・実習での疲れを発散し、クラス、学年の団結力を発揮し、交流を深める一日となりました。



平成25年6月21日（金曜日）、北海道内で看護師教育を実践している大学及び専修学校54施設が加入している北海道看護教育施設協議会が今年50周年を迎え、記念行事が催されました。

その記念すべき50周年記念行事の企画・運営を当校が当番校として、任されることとなり、50周年という節目の年であることから、2年以上の歳月をかけて準備に当たってきました。会場の札幌グランドホテルの担当者とは何度も打合せを重ねました。

当日、学校長（菊地院長）は総会の議長、副学校長は研究報告座長を務め、学校職員は受付、接待、資料配付など総会を滞りなく進めるために奔走しました。

夕方から開催された、五十周年記念祝賀会は、当校事務長（若崎管理課長）が司会を務め、当校学校長の祝杯により開宴しました。札幌医科大学室内楽合奏団をお招きし、懐かしい曲の演奏をお願いし、会員校54校の校舎写真をスライドショーで紹介するなど、50周年記念に相応しいものを用意し、提供させていただきました。

祝賀会が終わり、「国立に任せて本当に良かった」「素晴らしい祝賀会だった」と参列された方々からうれしいお言葉をいただくことができ、ホッと胸をなで下ろした一日でした。



Ceremony

副学校長

小川ひろみ

北海道看護 教育施設協議会 五十周年記念 総会・祝賀会



ヘリポート設置 について



当院は開設以来、生命に危険のある重症の患者様、初期救急医療施設及び二次救急医療施設で対応困難な患者様を、第三次救急医療機関として24時間体制で受け入れて参りましたが、この度、救急体制の更なる強化のため、正面玄関前の駐車場内にドクターヘリの離着陸上（ヘリポート）を設置することとなりました。

地上に、36m四方を高さ1mのフェンスと防砂ネットで囲い整備する予定で、11月末完成を目指しています。当然、大規模災害時には、防災ヘリの離着陸上としても使用可能なものとなります。

先日、地域住民の皆様にも説明会を開催させていただきましたが、運用には万全を期して行って参りますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



平成25年度 第1回 健康教室

Report-03

調剤主任

土谷 祐之

平成25年6月25日（火曜日）13時30分より北海道医療センター外来ホールで平成25年度第1回健康教室を開催いたしました。今回は今年度第1回の開催で、薬剤科より「お薬の正しい飲み方、使い方」について行いました。参加者は、外来患者さまや入院患者さまの約40名で、開催の30分以上前から外来ホールでお待ちいただいた方もいらっしゃいました。

健康教室の内容は副作用や内服薬・外用薬・注射薬の種類について、また内服薬の飲み方やお薬をより効果的に使用するための基本的なポイントについてお話しさせていただきました。さらに副作用を起こさないために、正しい量・正しいタイミングで服用することが大切で、内服薬は十分な量のお水で服用すること、お薬の保管方法についてもお話しさせていただきました。お薬手帳はとても重要なツールであり、他の医療機関の処方内容や副作用情報、その他医師や薬剤師に正確に情報を伝えるツールとして大変有用であることもお話しさせていただきました。健康教室の終わりには患者さまより飲み合わせや使用している薬について御質問を頂きました。また健康教室の終了後には多くの御質問を頂き、患者さまと充実した時間を過ごすことができました。

講習会のお知らせです



国立病院機構北海道医療センター 第3回がん化学療法講演会

「婦人科がんに関する化学療法と 外来化学療法について」

日時 平成25年8月2日(金) 18:00~19:00

場所 北海道医療センター5階 大会議室
札幌市西区山の手5条7丁目1-1

講師 JR札幌病院
顧問：寒河江 悟 先生

対象 医師・看護師・
薬剤師・他医療スタッフ

主催 国立病院機構北海道医療センター
がん化学療法委員会／地域医療連携室

連絡先 薬剤科 藤村 裕之／企画課 橋場 美紀
TEL: 011-611-8111





ロビーコンサート (ボランティアコンサート)

♪ミシェーラ室内アンサンブル
フルート、チェロ、クラリネットなどの器楽演奏による
ロビーコンサート♪

ミシェーラメンバーによりアンサンブル
クラリネットアンサンブルほか
住吉雄一 フルード無伴奏

日時 8月3日(土)14時00分から15時00分
場所 北海道医療センター外来ホール

演奏曲
♪ミシェーラ
アメイジング・グレイス、僕の懐
襟、故郷など
♪住吉雄一
♪S.パツハ 無伴奏バルティータ
より サラバンド、日本民謡 五
ツ木の子守唄、ロンドンデリー
の歌

北海道医療センター

Information

管理課長

若崎 由

入院生活は、楽しいことが少なく、苦痛と退屈の連続です。患者様に少しでも喜んでいただきたい。そんな気持ちから患者サービス向上委員会ではロビーコンサートを企画しています。

8月3日(土)14時、外来ホールにおいて「ミシェーラ室内アンサンブル・ロビーコンサート」を開催しますが、この後も、ロビーコンサートを継続して開催して行きたいと考えています。

お知り合いの方で、歌や演奏、ダンスなどを披露していただける方がおられましたら、管理課 若崎へ連絡をお願いします。



当院では年間をとおして
ボランティアコンサートを
募集しております。



連絡先

TEL:011-611-8111
(内線 5130)

2012年の コンサート風景



編集後記

事務部長

小野寺 正逸

実は、小欄を書いているのは参議院選挙の運動期間中です。

TVなどから連日流れる本州方面の選挙運動のニュースに比べると、広い北海道選挙区に候補者が6名ということで選挙カーが分散されているのか、若しくはあまり盛り上がっていないのか、大音量でがなり立てる選挙カーをあまり見受けません。

しかしながら、数日前に当院の前を通り過ぎた選挙カーから「北海道医療センターの職員の皆様、お仕事ご苦労様です。〇〇党の△△です。よろしくお願ひします。」の大音量での訴えにはびっくりしたというか苦笑・失笑。

道を挟んだ向かい側は小学校です。選挙カーは学校や病院周りではスピーカーは使わない、と昔聞いたことがあるのですが、今はそんなことも気に掛けていられないということなのでしょう。 「絶対入れてやんない」と心の奥の声が聞こえた感じがしました。

外来担当医師一覽

平成25年7月1日現在

外来受付時間

午前 8:30~11:00 / 午後 1:00~3:00 (一部の科のみ)

※土・日・祝日は休診 ※内科の午後は完全予約制

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	備考	
内科	リウマチ科 (膠原病)	午前 市川 午後 ー	竹内 市川	市川 ー	竹内 市川	市川 竹内	午後は完全予約制	
	呼吸器内科	午前 小倉 午後 中山	ー 山本	中山 ー	小倉 綱島	山本 ー	午後は完全予約制	
	呼吸器内科②	午前 鎌田	ー	綱島	ー	鎌田	午前診療のみ	
	糖尿病・ 脂質代謝内科	午前 中垣 担当医 午後 中垣	加藤(雅) 担当医 加藤(雅)	加藤(雅) 担当医 加藤(雅)	加藤(雅) 中垣 加藤(雅)	加藤(雅) 担当医 中垣	火・水・金曜日の担当医は オンコール対応 午後は完全予約制	
	消化器内科	午前 中原(初診) 大原 午後 大原	木村(初診) 武藤(修)	渡邊(初診) 大原 大原	武藤(修)(初診) 木村 ー	担当医(初診) 渡邊 ー	初診/再診 完全予約制 完全予約制	
	腎臓内科	午前 宮本(再診) 午後 ー	石川(初診)	山村(初・再診) 齋藤(快)(再診)	山村(初・再診) 山村(再診)	中沢(初診)	月曜日午後は再診のみ	
	循環器内科	午前 岡本(初診) 本間 佐藤(不整脈) 岡本	寺西(初診) 井上(仁) 金子 寺西	寺西 寺西 竹中 岡本	岡本(初診) 小松 藤田 岡本	竹中(初診) 寺西 武藤(晴) 竹中	初診/再診 再診(予約制) 再診(予約制) 午後は予約制	
		午後(予約)	武藤(晴)(SAS) 佐藤(不整脈)	井上(仁) 金子	寺西 竹中	武藤(晴)(SAS) 藤田	ベースメーカー外来 ー	※SAS=[睡眠時無呼吸 症候群]の 専門外来(予約制)
		神経内科	午前 藤木 新野 午後(一般) 田代 午後(専門) 難病相談外来	菊池(誠)(再診) 土井 宮崎 藤木 菊池 (パーキンソン専門外来)	南 新野 ー ー 多発性硬化症専門外来	土井 藤木 ー ー	南 菊池(誠)(再診) 宮崎 秋本 ー	月曜日午後の 難病相談外来は北海道 難病医療ネットワークからの 紹介患者様に限る 午後は完全予約制
	外科	外科	午前 高橋(宏) 午後 高橋(宏)/乳がん検診	蔵谷 ー	伊藤 菊池(健)	植村 ー	第4週:高橋(宏) 第4週以外:柴田 第4週:高橋(宏)	札幌市乳がん検診 月曜午後 木曜日午後は完全予約制 第4金曜日はストーマ外来
		呼吸器外科	午前 井上(邦)	ー	大坂 ー	ー	大坂(偶数週) 井上(邦)(奇数週)	午前診療のみ
		心血管外科	午前 ー	石橋(初診) 川崎	ー	石橋(初診) 森本	ー	ー
整形外科		午前 新衞 宮城 午後(予約) 宮城	宮城 ー	高橋(士) 新衞 高橋(士)	高橋(士) ー	宮城 新衞 ー	初診/再診 再診 午後は完全予約制	
リハビリテーション科		午前 高橋(士)	ー	ー	ー	ー	午前診療のみ	
脳神経外科		午前 安喰 午後 ー	安田 ー	担当医 ー	牛越 ー	担当医 ー	水・金の担当医は初診のみ 木曜日午後は専門外来 [完全予約制, 初診は紹介のみ]	
小児科 (小児腎臓病センター) (小児遺伝代謝センター)	午前(一般)	荒木	長岡	長尾	荒木	田中(藤)	完全予約制 紹介又は予約制 完全予約制	
	午前(専門)	長尾(神経・成長発達)	荒木(腎臓)	長岡(腎臓, 第1・4・5週) 荒木(腎臓, 第2・3週)	長岡(腎臓, 偶数週) 田中(遺伝・代謝・ 遺伝カウンセリング, 奇数週)	長尾(アレルギー)		
	午後(紹介・予約制)	田中(藤)	森井	長岡	森井	長岡		
	午後(専門)	長岡(腎臓)	田中(藤) (遺伝・代謝・遺伝カウンセリング)	若井(脳波・神経, 第1・2・3週) 荒木(腎臓)	森井(小児保健)	荒木(腎臓)		
泌尿器科	午前 第2・4月曜のみ 笹村	笹村 ー	担当医 ー	笹村 ー	笹村 ー	午前診療のみ 午後は検査・手術		
婦人科	午前 内田(初・再診) 齋藤(裕)/大隈(再診) 午後 ー	大隈(傷の小さな外科手術) 河井(再診)	齋藤(裕)(初・再診) 齋藤(裕)(再診)	女性医師外来 10:00~14:00	河井(初・再診) 河井/大隈/ 内田(再診)	木曜日は女性医師による 診察 午後は完全予約制		
皮膚科	午前 廣崎(予約制) 塚本(予約制) 午後 褥瘡専門外来	塚本(予約制) 廣崎(アレルギー・腫瘍)	廣崎 ー	廣崎 ー	廣崎(予約制) 塚本(予約制)	午後は予約専門外来 [火曜日午後は第3週を除く]		
耳鼻咽喉科	午前 鈴木/前田 午後 鈴木/前田	担当医 ー	ー ー	鈴木/前田 ー	鈴木/前田 ー	火曜日完全予約制		
眼科	午前 中村/金(シソ)	中村/金(シソ)	中村	中村/金(シソ)	中村/金(シソ)	午前診療のみ 午後は検査・手術		
精神科	午前 担当医(初診) ー	松永(初診) 萩(再診)	萩(初診) 神(再診)	石井(初診) 松永(再診)	神(初診) 担当医(再診)	当院入院中の方のみ		

※都合により、代診・休診となる場合がございますので、事前にお電話にてご確認ください。(代表 011-611-8111)

北海道医療センターニュース

山の手だよ!!

No.8

2013年7月発行



独立行政法人 国立病院機構

北海道医療センター



〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号

TEL.011-611-8111

北海道医療センター

検索

